

公共事業事前評価調書(平成25年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:街路整備班

事業名	3・2・6号胡屋泡瀬線(高原工区)街路整備事業		事業区分	交付金	事業主体	沖縄県
事業箇所	沖縄市高原地内					
事業の諸元	道路改良 L=0.9km W=32m					
事業の概要	<p>都市計画道路「胡屋泡瀬線」は、沖縄環状線嘉手納基地第2ゲート付近から胡屋交差点、国道329号高原交差点を経て、沖縄環状線と交差する延長約4kmの都市計画道路である。</p> <p>このうち、胡屋十字路付近から高原団地入口付近までの約2.2kmで事業に着手しているが、今回新たに、高原団地入口付近から国道329号高原交差点までの区間を4車線に拡幅整備するものである。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>〈必要性等〉</p> <p>胡屋泡瀬線は、胡屋交差点や高原交差点を中心に、朝夕のピーク時に慢性的な交通渋滞が発生している。また、中城湾港新港地区や泡瀬地区と中心市街地の物流・交通流の処理向上等、沖縄市の東西骨格軸を担う幹線道路である。</p> <p>〈効果等〉</p> <p>本事業により、高原交差点の交通渋滞が緩和されるとともに、沖縄市中心市街地へのアクセス機能強化を図ることができ、中心市街地の活性化や中城湾港新港地区や泡瀬地区の利活用の向上等が期待出来る。</p>					
事業期間	事業採択	平成25年度	完了(予定)	平成31年度		
全体事業費	47 億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C = 2.89 (参考値) 事業中区間のB/C	総便益:B	365 億円	総費用:C	126 億円	基準年
		走行時間短縮便益	346 億円	改築費	125 億円	平成21年度
		走行経費減少便益	14 億円	維持修繕費	1.1 億円	
		交通事故減少便益	5.5 億円			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>胡屋泡瀬線は、「沖縄市都市マスタープラン(平成8年3月沖縄市策定)」において、シンボル交流ネットワーク軸として位置づけられており、「沖縄市都市計画道路整備プログラム(平成16年3月沖縄市策定)」において、整備優先度上位の路線となっている。</p> <p>また、沖縄県総合交通体系基本計画(平成14年3月沖縄県策定)において、都市軸を形成し都市間交通の円滑化を図る骨格道路網の整備として位置付けられている。</p>					
環境への配慮	<p>歩道植栽により緑陰を形成し、歩行者及び周辺的生活環境へ配慮するとともに、低騒音舗装を施工することにより沿道環境へ配慮した整備を行う。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>中部土木事務所にて行っている市町村との意見交換会で、高原交差点付近の早期事業化について沖縄市より要望がある。</p>					
概要図(位置図)						